

学校便り 5月号

かけはし

薩摩川内市立里小学校 薩摩川内市里町里 1601 TEL 09969-3-2008
発行 令和5年5月22日 責任者 校長 永野 俊也

学校HP



学校ブログ



里周辺海水温
23℃(5/20)



子供の学び 大人の学び

最近のテストって！

校長 永野 俊也

私たちの頃とはだいぶ様変わりしています。わかりやすいのは算数や数学です。昔は大問1と言えば、ドリル的な計算問題でまずは肩慣らしをし、徐々に説明を求める文章題が増えていくパターンが普通でした。それが最近では、いきなり文章題からスタートし、それもAさんとBさんの会話の中から簡単な数式を組み立て、答えを導き出すといったものが増えてきました。

現在、学校の授業で求められていることの一つとして、「対話的な場面」を授業の中にどのように設定するかがあります。子供たちは目の前にある課題に対し、主体的に話し合いを行い、時に議論を重ね、一つのチームとして答えを導き出していきます。また、高学年になると、タブレットをノート代わりに活用しながら、タブレット上で互いの意見を確認したり、関連づけを行ったり、またネットから資料を引き出しそれを結びつけて根拠にするなど、学び方も随分様変わりしてきました。

子供たちの生きる時代は、誰もが経験したことのない予測不可能な時代に入ることを想定し、まだ見えないこれから起こる様々な課題に、対応する力をつけようと学び方自体が変化してきています。

これに対応するためには教師サイドもけっこう大変です。今まで蓄積した知識と経験で授業を組み立てるばかりでなく、新しい時代を切り開くための新たな学びを研修し、自分自身も常に情報更新していかなければなりません。学校を取り巻く環境は、コロナ禍を経て大きく様変わりしています。

さて、**課題解決学習**といえば、創立150周年記念誌の中にもその技法を活用しています。例えば、「なぜ、甌島上空にB-29は集まってきていたの？」という素朴な疑問に答えてくれる文献には行き着きませんでした。そうなるとその疑問に対し、自分で資料を集め答えを導かなければなりません。B-29について調べていくと、日本に投入された当初は、その損耗率の高さがアメリカの議会で問題視された記事などがあり、アメリカとしても高価な最新鋭機を簡単に失えない事情が見えてきました。そして、東京に向かう際の不思議なルートも偏西風によるものであること等々多くの資料を集め、そして実際に地球儀を見つめていくと、素朴な疑問の核心に徐々に近づいていきました。記念誌にまとめてある内容の裏には、実は参考文献以外に多くの資料がつまっています。そのほかに、関連して甌島に電話を敷設する話を少し書きましたが、これは小川三郎著かごしま文庫「甌島」にその苦労の様子が詳しく書かれています。ぜひ、それらの本を手にするきっかけになればと思います。

課題解決学習の核心に近づく大切なことの一つに、実際に**現場を見る**という体験が果たす役割も大きいと感じました。「島津氏はなぜ肝付氏の高山城攻略に失敗したのか？」など、実際現地に行き、森の中にある土塁を歩いてみると「なるほど」とその理由が見えてきます。また、甌島の学童疎開にしても、文献で見つけた宮之城にあるという記念碑を探しに行く道のりで、川内の太平橋から宮之城の山崎小まで歩いた当時の小学生の心境を考えることなど貴重な時間でした。

さあ、今月号は今子供たちはどのような学びに向き合っているかということを書きましたが、後半は、記念誌を軸にした課題解決学習にふれてみました。どうか記念誌を親子三世代で囲み、家族団らんの場で未来につながる語りが生まれてくれればと思います。



令和5年度のPTA役員が決定しました

4月24日(月)に、PTA総会が行われ、令和5年度の新たな役員が承認されました。今年度は、コロナ禍の規制もなく様々な充実した活動が予想されます。一年間、皆様の御協力をよろしくお願いいたします。

会長	久保田 桂輔	副会長	馬場 卓 肥後 美希
書記	森山 慎一	会計	高橋 健太郎
顧問	永野 俊也	監査	中学校P会長・副会長
生活指導部 (地域代議員)	部長 塩田 健介 副部長 西菌 桂	保体事業部	部長 辻 裕美 副部長 橋口 修一
研究広報部	部長 川畑 和永 副部長 庵地 優		
1年代議員	(長) 岸 和博 (副) 池田 恭代	2年代議員	(長) 橋口 紀子 (副) 藤原 祐樹
3年代議員	(長) 山下 賢太 (副) 東 怜佳	4年代議員	(長) 川崎 誠 (副) 原田 智美
5年代議員	(長) 山下 珠里 (副) 長井 里沙	6年代議員	(長) 小川 隆薫 (副) 南菌 智子

体カテスト頑張りました!

5月17日(水)は、全児童で体カテストを行いました。この日は、天気にも恵まれ、少し暑い中でしたが、屋外ではソフトボール投げと50m走を、屋内では立ち幅跳び、反復横跳び、上体起こしを行いました。

1年生にとっては初めての経験だったので、先生方や上級生に教わりながら取り組みました。今年度も学校全体で、体力向上に努めていきたいです。



20mシャトルランの様子

6月行事

- 1日(木) 読書旬間(～14日)
- 2日(金) 市小学校綱引競技大会
- 7日(水) 委員会活動
交通教室
- 9日(金) 中期ふるコミュ
(オンライン)
- 10日(土) 土曜授業日・避難訓練(大雨)
- 15日(木) かのこゆり号来校
- 12日(月) 集団宿泊学習(5・6年:～14日)
- 16日(金) 移動講座(3・4年授業提供)
- 19日(月) 着衣水泳
- 20日(火) 生活リズム指導週間(～26日)
先生と語ろう週間(～22日)
第一回学校保健委員会
- 23日(金) 一日遠足
- 27日(火) 中期ふるコミュ(中津小)
- 28日(水) クラブ活動

「人権の花運動」開校式

5月16日(火)に、「人権の花運動」開校式が行われました。鹿児島地方法務局川内支局長様や薩摩川内市人権擁護委員様等をお迎えして、人権の花運動実施に当たっての目録や人権まもるくんとあゆみちゃんの人形の授与などを行いました。6年生の代表児童が、「黒木小(前年実施校)から引き継いだひまわりの種を育てながら、思いやりや優しさについて考えていきたい。」と決意の言葉を述べました。夏頃には、たくさんのひまわりがさくと思います。御家庭でも思いやりややさしさについて話題にしていだければと思います。



人形の授与の様子

今月の付録

創立 150 周年記念誌の一般向け販売（実費 3500 円にて）を行っています。残部が 50 冊ほどになってきました。御購入希望の方は、小学校にお問い合わせください。

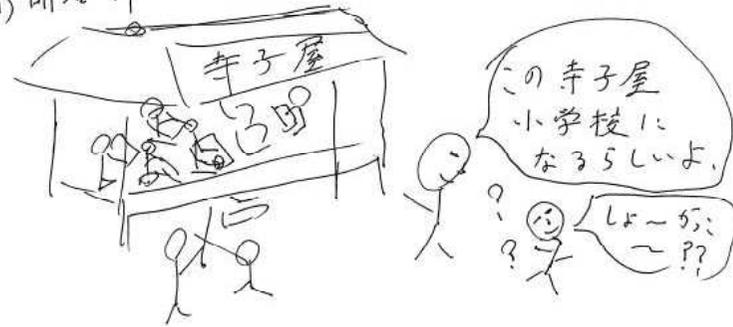
今月号より、付録として記念誌作成の裏話や、掲載できなかったちょっとしたお話をしばらくの間掲載してみます。

今月号は、記念誌第 2 章「里小 150 年の歩み」7 p のイラストについてです。記念誌作成にあたり、なるべく親しみやすく、わかりやすくをコンセプトとしながらも、学術的に価値あるものにしたいとも考えました。里小創立当初の様子を伝える写真は、明治 4 年ですので当然のことながら残っていません。そこで、学校沿革史から見える光景をイラストにしてみることにしました。幸い私の姉がイラストレーターをしていたので、私がラフデッサンを描き（左）そこから起こしてもらったものが 7 p のイラスト

イラスト依頼内容

1 学校創立当時の様子

1) 明治 4 年



2) 明治 28 年

はじめてオルガン購入



同年 (3)

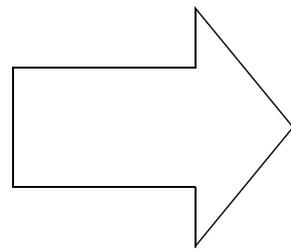
台風



となります。どうでしょう？ ラフデッサンのイメージ通りとなっていますでしょうか？？

なお、ここで登場しているオルガンは、中津の郷土館が保管している昔のオルガンを取材し、写真を送り描いて

もらっています。郷土館を訪ねた時は、探してみてください。「あっ、これだ！」と気づくはずですよ。



それから、記念誌に使われている主立った写真（表紙、裏表紙の初日の出等）は、携帯電話で撮ったものです。

また、集めた昔の写真は、AI により色あせを取り除き、写真のノイズ除去や傷等の自動修正を行い、撮影当時のものに近づけています。

現代の科学技術の進歩は、改めてすごいと思いました。

(つづく)